

令和5年度 技術研修会視察報告

10月11日(水)、電気技術等の普及啓発を図ることを目的として、新北上浄水場と(株)花巻バイオマスエナジーの視察研修を行いましたので、その概要をご紹介します。

なお、この研修会にご参加いただきました協会役員並びに会員、企業局職員併せて20名の皆様と、視察先をご案内いただきました企業局県南施設管理所、(株)花巻バイオマスエナジーの職員の皆様に心より御礼申し上げます。

◆ 企業局 新北上浄水場(北上市)

北上工業団地の新たな立地企業への工業用水需要に対応するため、企業局が、令和2年から新北上浄水場を建設していましたが、第1期工事が完成し、今年4月から給水を開始しました。最大給水能力は、2万 m^3 /日ですが、立地企業の規模拡大や関連企業立地による工業用水需要の増加に応じて、第2期、第3期の増設工事を実施し、最終の給水能力を約6万 m^3 /日とする計画とのことでした。

視察時は、浄水処理の工程にあわせ、取水口→着水井混和池→高速凝集沈殿池→配水池と、汚泥処理の、濃縮槽→脱水機棟、それらを制御する管理棟を説明していただきました。

施設の特徴として、動力を必要としないサイフォンによる脈動式高速凝集沈殿池を採用していること、沈殿池上部にアルミ製可動カバーを設置し藻類の発生を抑制していること、配電線の停電に備え、2回線受電と受変電設備の2系統化を図ったとの説明を受け、良質な工業用水の安定供給に向け、様々な工夫が取り入れられていると感じた次第です。

企業局県南施設管理所長様、次長様を始め職員の皆様に懇切丁寧に案内していただきました。





◆ 株式会社バイオマスエネジー(花巻市)

岩手県内の豊かな森林から発生する林地残材(間伐材、松くい虫被害木)などの未利用材や製材端材を木質バイオマス発電の燃料として有効活用するもので、出力 6,560kW の発電機を年間 330 日運転しているとのことでした。年間で 52,000MWh(一般家庭で 14,500 世帯分に相当)を発電でき、発電した電気は、地元の小中学校や工業団地内の企業などに供給されるほか、蒸気の余熱を利用し発電所に隣接するハウスで「きくらげ栽培」を行い、近隣の飲食店などへ提供し、エネルギーを無駄なく活用していました。

これらにより、林業振興、地域活性化、雇用創出などの地元貢献を図ることを事業スキームに掲げています。

研修に参加されたほとんどの方が木質バイオマス発電所の視察が初めてとのこと、多くの質問が出されるなど、予定時間を超えての研修となりました。

株式会社バイオマスエネジー代表取締役様や電気主任技術者(企業局OB職員)を始め社員の皆様に懇切丁寧に案内していただきました。



